

“新宮”から “本宮”修練舎へ

～増田のブログより～

※青字は、神より降ろされたお言葉

「増田が帰ってきたら、新宮の本宮に来て祈ってください。」

2019年の年末、婆タヌキ（細川）に天から降ろされたお言葉です。

「“新宮の本宮”の意味がわかりません。明日でもよいのか？今日なのか？と問い返すと、増田が帰って来てから新宮の本宮に来てください、と神が応えて言われた」と婆タヌキからメールが届きました。

このメールを受け取ったその時、私は熊野三山に呼ばれて行っていました。那智大社、新宮大社、本宮大社の三社です。熊野三山界隈の神社の神々が全て高山の新宮神社に入るということです。

このメールをもらって、すぐにその意味が私にはわかりました。高山新宮神社は、本宮神社と名前を変えるのです。よって本年より新宮修練舎は、**本宮修練舎**となります。神からの新年のお言葉です。

いつも誠に良き仕事をされますこと、ありがとうございます。今日ここに來られて、良き仕事をされますこと、誠に
お祝い申し上げます。ようこそおいで下さいました。晴れ晴れとした新年を迎えまして、ますますのご活躍を期待申し上げます。あなたの側にいる良く理解できる者たちには、
この新宮神社へ世界中の神々が集まりまして本宮となりました

こと、伝えて下さい。ここが日本の世界中の基地となり、大きな仕事を進めていく場所であることを伝えて下さい。そして、神を祀る美しい心を持って、祀って欲しいと願っています。



生 言 靈 の 変 化

～増田のブログより～

小寒練功会の時に生言靈の響きが、昨年と全然変わっていることに気が付きました。こんな響きで、言靈がきちんと伝わっているのか？と、不安になるような質的な変化でした。

その後、

1/11 東京講座、奈良へ移動

1/12 大神神社、狭井神社、久延彦神社、脳天大神、金峯山寺

1/13 高野山奥の院、金剛峯寺、高山本宮神社

1/14-15 日光東照宮、華嚴の滝、二荒山神社、中禅寺湖

1/16-17 東京都八王子市高尾山、高山本宮神社

1/18 高山にて貫頂、移動

1/19 白山比め神社、大瀧神社、岡太神社、高山本宮神社

等を次々と訪れ、お力をお授けいただいたので、1/20の大寒集中練功会にて、また大きな変化を感じました。そこで、生言靈はどう変わったかを神にお聞きしてみました。

体の真底から発生することが出来るようになった。つまり、体のエネルギーが充実してきたので、声に体のエネルギーを加えて生言靈の音を届けることが出来る。それは内蔵の悪い者にとってはこのうえない「宝珠」である。

気絶神倉法と修練

～ 1/23 錬功会後の講話より ～

※文中の①～④は、下図の①～④で表しています。

通常の人（Aさん）が修練を継続していくと、健康状態が良い方向へ変化していきます（①）。

一方、体調があまりよくない人（Bさん）が気絶神倉法をかけるとどうなるかという、施術により健康状態がポント上がります。（②）その後、Aさんと同じように修練することで健康状態はじわじわと改善しますが、Aさんの変化の程度より若干鈍ります。（③）

なので、気絶神倉法を受けて、なおかつ、Aさんと同じような傾斜、最低でも平行を維持できるように修練を頑張ると、その健康状態を継続できます。

気絶神倉法を受けても、修練をせずに放っておくと、また健康状態は元の悪い状態へ下がります。（④）なので、気絶神倉法を受けたら、健康状態を上向きに、最低でも平行を維持できるように修練をし続けなければいけません。その状態を維持したうえで、再度、気絶神倉法を受けることで、さらに体調の良い状態にすることが可能となります。

また、年齢を考慮する必要があります。自分の年齢を考慮して、自分の健康状態がどのような角度で下がっていく

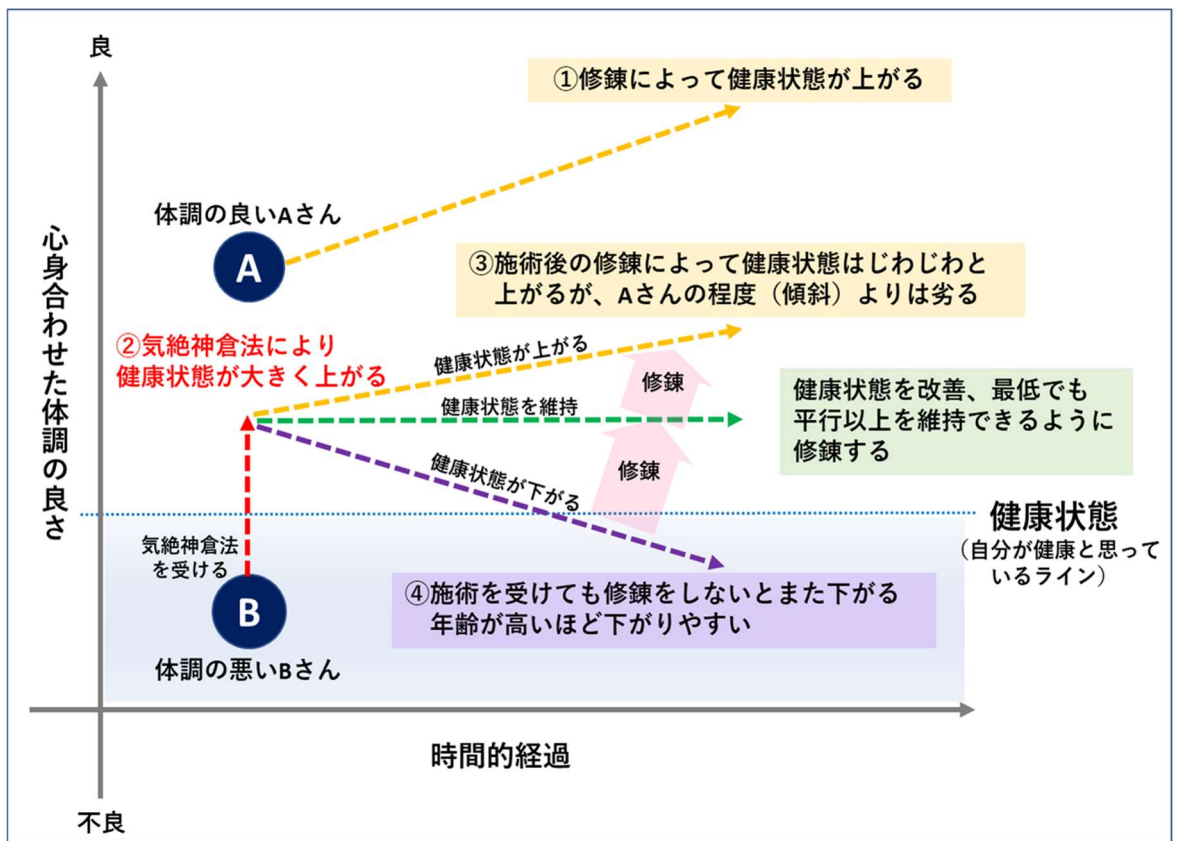
のかということを考えて、健康状態を平行以上に維持するための修練時間や修練内容を模索しなければいけません。

錬功会の場合というのは、講師によって大きく変わります。なぜそんなに変わるかというと、講師は、来られている修練者の方々の機嫌を損ねないよう

に、という意識が常に働いているためです。ですが、ここに立つ講師が常に求められなければならないのは、「最善を尽くして、指導する」ということです。これが最善だ！ということを設定して、それに向かって講師と修練者が一緒に修練をすることが大事です。

また、修練に来られている方も「楽な方がいいわ」という気持ちで修練をしていると、錬功会の方がだらけてしまいます。なので、常に、1人1人が周りの人に影響されないように自分が求めている最善の修練状態はどういう状態かというのを考えながら一つ一つ修練しなければ、修練している意味がなくなってしまいます。

講師も、錬功会へ参加される修練者の方も結局は同じで、自分の生き方がどうなのか、周りに影響されないようにどこまで買けるか、というような修練方法、あるいは、毎日の生活態度を貫いていかなければなりません。よくあるのは、ご家族に影響されてしまうケースです。往々にしてあるのが、ご主人がこうやれ！こうやってほしい！というのに追随してしまい、自分の生き方を変えざるを得ない。中には、死ぬような大病を患っているにも関わらず、ご主人の意向に合わせてしまっているという方もいらっしゃいます。自分の命、生き方は自分のもので、ご主人や家族の一部ではありません。そのことを自分の中で確立して、寿命を全うするまではそれを曲げないように生きていってほしいです。



人格統合調和法の施術時期

～増田のブログより～

人格統合調和法は、後々の効果を考えると、なるべく早くしたほうが良いと思います。特に発達障害のお子さんに関しては、7歳までとそれ以後とは大きく効果が違ってきます。7歳までしか許されない施術方法があるからです。

人格統合調和法の施術は同時に、膨大なエネルギー量を必要とすることから、3回の気絶神倉法の施術が義務づけられています。よって、高額な施術料と1ヶ月半以上の期間を必要とします。

なおかつ親の理解が必要です。親の理解が無ければ、その子の将来を諦めざるを得ません。歯ざしりをしながら見守るだけの祖父母もいらっしゃいます。

今までこの施術を受講した方は、100名を超えています。施術の効果を1月21日に大きく変更しましたので、その時点でそれら全ての方々に新しい方法にて、再度、施術をかけ直しています。

ただし、当初お試して施術した方については、今まで効果が出ていましたが、今回の施術のかけ直しに伴って、新たなかけ直しをしていませんので、それまでの効果がキャンセルされます。新たに施術する必要があります。

DANDYさんのブログのご紹介

地道に修練されているDANDYさん。修練後の変化について、ブログに書いてくださっています。

～識眼功（しきがんこう）～

『あなたに必要なのは識眼功です・・・』

つい先日、小寒集中練功会でBタヌキ先生から言われた言葉です。当日、以前から頭がボンヤリして頭痛がしたり思考がまとまらないという相談をしたときの返答です。

昨年は公私共に多忙で、あまり練功会等に参加せず相談する機会も無かったのですが、集中練功会の終わりに少しお話する機会があり質問させていただきました。

正直意外な返答で驚きました。

頭に関する事なので功法有無や録音教材を勧められるかと思ってました。(もちろん功法有無は勧められましたが)

思えば「識眼功」はこれまで数回しか修練しておらず、昨年は一度もしていませんでした(´～`)

早速、アドバイスに従い「識眼功」を毎日の修練に取り入れました！あくまで個人の感想ですが「識眼功」は数ある情報の中から自分に必要な情報を選別する効果があるのではないかと思います。

昨今はインターネットの普及もあり、色んな情報が乱雑に入ってきます。もしかしたら、僕の頭はそれを適切に処理できておらず、情報に振り回され、自分の考えがまとまらなくなっていたのかもしれない🙄

「識眼功」を日課としてまだ数日ですが、以前ほど焦りを感じたり、無力感を感じることは減ってきました。

僕個人に限らず様々なメディア、SNS、他者の言葉により輝かしい人々と自分を比べてしまい、焦りや無力感を感じることはおそらく誰しもあることかと思います。

これもうつや、引きこもりといった現代病の原因かもしれません・・・

そんな情報戦争時代に、自分にとって必要な情報を選び出し、自身で道を切り開いていく能力はこの先必要不可欠ではないかと痛感しました。

アドバイス下さったBタヌキ先生ありがとうございました
m(._.)m

「識眼功」とは・・・

人のもつ潜在的な六つの感覚をより鋭敏にし、総ての情報を的確に判断処理することを修練する為の功法

～清昇濁降（せいしょうだつこう）～

僕の仕事はかなり肉体を酷使するもので、同業者はかなり怪我や肉体的トラブルに悩まされているようです。

以前、自衛隊のパラシュート部隊(エリート)の人がいたらしいですが、一週間で辞めてしまったそうです。体力には自信があったそうなのですが、工具などの重量物を背負い山に登るのはそれほど過酷なのです。もっとも、続けていれば体が山仕様になりバリバリ活躍していたかもしれません。

同僚には肘が変形してしまったり、膝を壊してしまい時折欠勤しなくてはいけなくなった人もいます。そんな中、僕は怪我や肉体的トラブルはほぼ皆無です。

昨年ふと気付いたのですが、体の調子が良い時とそうでない時がありました。昨年は何かと忙しく修練時間が少なくなっていました。が、空いた時間にそれなりに行っていたので全くしていなかったわけではありません。

自分なりに分析してみると・・・「清昇濁降」をした次の日は体が軽く、疲労感がかなり軽減している事に気がしまし

た。僕は仕事以外にも、趣味でこれまた肉体を酷使する格闘技をやっているのですが、練習後に「清昇濁降」をすると翌日の筋肉痛や体の強張り、打撲などが軽減します。(これも自分で人体実験しました)

以上の事から、普段スポーツや体をよく動かす人は「清昇濁降」をしてみるとパフォーマンスアップや疲労の回復が早まるかもしれません・・・

「清昇濁降」とは・・・

全身の経絡を縦横無尽に貫通し、邪を下に吐き出し、清を上昇させる功法です。全身の骨・関節・靭帯等だけでなく、支える筋肉にも作用が及び、疾患、事故、怪我に働きかけます。



「無形ワクチン・コロナイン」のご紹介

新型コロナウイルスの感染が、中国武漢から世界中に拡大しています。さらに、今後も感染は拡がり続け、我々の身近に迫ってくる可能性があります。日本元極では以前より、鳥インフルエンザをはじめとする多くの重症化するウイルス感染について「無形のワクチン」の開発をすすめてきました。すでに十数年前から縁ある人の体に未知のウイルスを感染させて、人の体で無形のワクチンを創り、神様方はその時が来るまで懐で暖めておられたようです。時が来て、世の中にこの無形のワクチンを送り出すときが来たようです。すでに、縁ある方々や体力のない子供たちにも無形のワクチンは神の命によって投与されたようで、大きな副作用がないことも確認されているとのこと。さて、無形のワクチンにはどれほどの抑制効果があるのでしょうか？実施してみなければ！実際に、使ってみなければ！わからないこともたくさんあります。

3月 講座・錬功会のご案内

啓蟄錬功会 スケジュール

3月5日(木)

11:00-13:00 啓蟄・午刻静功会 (啓蟄 11:57)

13:45-14:15 貫頂・帯功

14:20-16:20 功法有無ム・ヒト・フタ・ミ・ム錬功会

16:30-18:30 ブラッシュアップ動功会

春分特別講座 スケジュール

3月20日(金)

12:00-14:00 春分静功

14:15-14:45 貫頂・帯功

15:00-17:00 動功・按摩功

17:45-19:45 ブラッシュアップ動功

15:00-16:30 尊師重道 (階ヒト画訣)

18:00-19:30 五色倉 (階ヒト画訣)

19:45-21:30 識眼功

3月21日(土)

08:30-10:30 動功・按摩功

10:45-12:45 静功

13:35-15:35 ブラッシュアップ動功

15:45-16:15 生言霊 戻戻止痛

16:20-16:50 生言霊 さとりの強化法

16:55-17:25 生言霊 智慧の脳天法起術

17:40-18:10 貫頂・帯功

08:30-13:00 階ヒト画訣 (階ヒト画訣)

14:00-15:30 階ヒト貫頂やり方 (階ヒト画訣)

3月22日(日)

08:30-09:00 生言霊 功法有無ム・ヒト

09:05-09:35 生言霊 功法有無フタ・ミ

09:40-10:10 生言霊 清昇濁降

10:30-11:00 貫頂・帯功

11:15-13:15 午の刻 静功